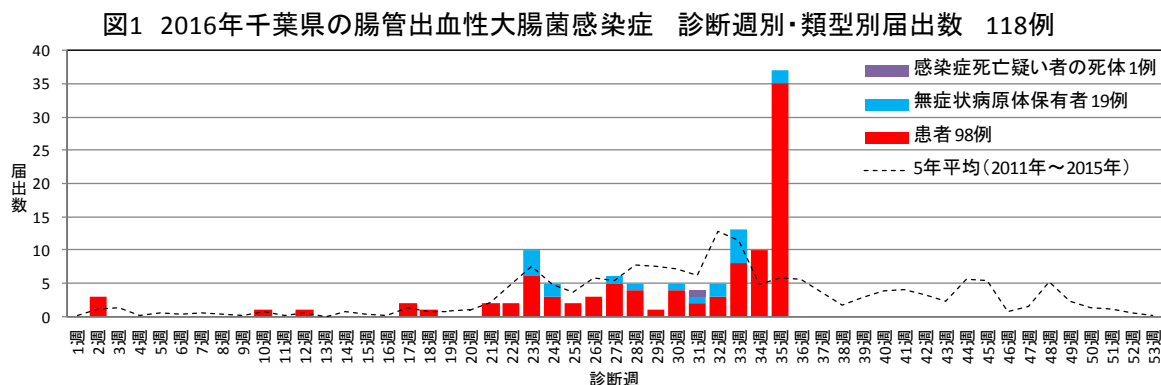


【今週の注目疾患】

腸管出血性大腸菌感染症

千葉県では、2016年35週に37例の届出があり、2016年1週～35週の累積届出数は118例となった(図1)。腸管出血性大腸菌は少量の菌数(100個程度)でも感染が成立するため、人から人への経路、人から食材・食品への経路¹⁾、汚染食品から人への経路で感染が拡大しやすい。35週は食中毒事例の症例が含まれているため届出数が急増した²⁾。届出数が増加したこと、重症例が見られたことから、2016年1～35週に届出された118例の発生状況をまとめた。



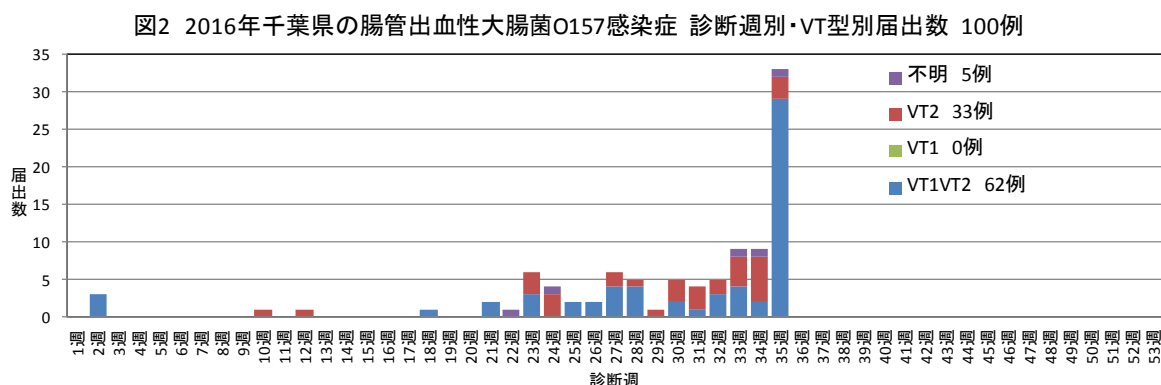
類型別では、患者98例(83.1%)、無症状病原体保有者19例(16.1%)、感染症死亡疑い者の死体1例(0.8%)であった。

性別では、男性52例(44.1%)、女性66例(55.9%)であった。

年齢群別では、20代20例(16.9%)、80代20例(16.9%)、5歳未満14例(11.9%)、30代13例(11.0%)、90代13例(11.0%)が多かった。

患者98例の症状等は、水様性下痢69例(70.4%)、血便65例(66.3%)、腹痛64例(65.3%)、発熱17例(17.3%)、嘔吐7例(7.1%)、急性腎不全2例(2.0%)、溶血性尿毒症症候群(HUS)1例(1.0%)であった(複数報告あり)。

O血清群別では、O157が100例(84.7%)、O26が9例(7.6%)、不明が7例(5.9%)、O111が1例(0.8%)、O165が1例(0.8%)であった。最も報告が多いO157をVT型別に図2に示す。



参考

1) 病原微生物検出情報 (IASR) Vol. 37 No. 5 腸管出血性大腸菌感染症 2016年4月現在

URL : <http://www0.nih.go.jp/niid/idsc/iasr/37/435.pdf>

2) 食中毒の発生について(第3報)(平成28年9月6日)千葉県健康福祉部衛生指導課

URL : <http://www.pref.chiba.lg.jp/eishi/press/2016/h280906.html>